

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和6年度 第6回理事会 議事録

開催日時：令和6年2月27日（木）19時00分～21時00分

開催場所：Zoomによる会議

出席者：岡村、山口、酒井、乾、森本、市川、渡邊、荻谷、中島、林、高橋、森（幸）、
倉家、前田、帖佐、日比

欠席者：澤野、上野、中尾、建部、森（栄）、小西、安藤、服部、菊地

議長：岡村（会長）

議事録：日比（庶務部長）

報告事項および議題

1. 関係各所からの報告【日臨技・県・厚労省・その他】 [岡村会長]：資料配布済み

以下の資料内容について確認をお願いした。

- ① 日臨技より、会費の送金等の資料について
- ② 日臨技より、令和6年度各賞受賞者決定について
- ③ 厚労省より、「保健医療情報分野の標準規格（厚生労働省標準規格）について」の一部改正について
- ④ 厚労省より、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 持続皮下グルコース検査コンテンツにおける備品更新のお知らせ
- ⑤ 日臨技より、令和7年度 医療技術部門管理資格認定制度新規募集案内について
- ⑥ 4MS 合同会社より、臨床検査技師会応援プランについて
- ⑦ 事務所使用ソフトの更新「一太郎・花子 バージョンアップ版 JUSTPDF6」について
- ⑧ 岐臨技ホームページバナー広告の趣意書について
- ⑨ （R7年度）事業計画の承認依頼について

2. 中部圏支部医学検査学会について [岡村会長]

① 前回の理事会報告からの変更内容

執行部主導で2026年中部圏支部医学検査学会準備小委員会設置、準備中であったが慣例として県学会同様に地区単位での運営であることが1月常務理事会にて問題提起され議論した結果、契約等期日が係る事に対しては現中部圏支部医学検査学会準備小委員会が対応し、岐阜地区にて実行委員会メンバーを選出していただいた後に、現中部圏支部医学検査学会準備小委員会の一部メンバーと合流していただき運営に当たっていただく事が一番ではないかと結論付けた。

現中部圏支部医学検査学会準備小委員会からは下記4名を推薦。

- ・事務局長：山口副会長（東濃地区）
- ・会計：荻谷渉外部長（岐阜地区）：元岐臨技会計

- ・ 学術 : 森本学術部長 (岐阜地区)
- ・ 記録係 : 直井県学会事務局長 (飛騨地区)

* 運営の引継ぎが毎回できていないとの理由で次地区から運営委員会へ参加させることについて、理事会での決定事項。

上記 4 名に加え、岐阜地区から 4 名 (実質 6 名) を選出して頂く。

令和 6 年度の役員一覧を参考にすると実行委員長、広報担当、会場担当、展示担当、情報交換会担当の係がある。事務局長や記録係は兼務可能。

- ・ 岐阜地区から上野理事 (岐阜大学医学部附属病院) 内定

② 進捗状況報告 (山口副会長より)

会場について、長良川国際会議場と十六プラザの比較検討結果を報告、予算、利便性、交通手段等を加味し採決を行い十六プラザ多数となるも、会場のスペースに不安があるとの意見が一部から上がり、運営委員会 (運営委員長) が決定されていない段階での会場決定は時期尚早となった。会場の契約を 3 月中に行わないと利用料が 2 割増しとなることを踏まえ岐阜地区からの運営委員選出及び運営委員長選任を急ぎ運営委員会を発足し、検討決断することになった。運営委員会発足が間に合わなかった場合は十六プラザとする。

岐阜県及び岐阜市への助成金申請が 6 月締め切りであるため予算案・企画書作成は両会場分を作成し、期限内提出できるように整えることにした。

イベント運営会社選定については山口副会長 (事務局長) に一任することにした。

【開催日：会場】

- ・ 2026 年 10 月 30 (金) (準備) ~ 11 月 1 日 (日)
- ・ 長良川国際会議場 (仮押さえ済) または十六プラザ

《参考内容》

< 参加者 (目標) > 800~900 名

前回開催時 (岐阜県担当) 728 名、愛知県 (今年度) 1300 名、三重県 (目標) 800 名

< 参加費 > 5,000 円 (細則)

< 会場 >

1. 会場・会場費：長良川国際会議場 (227 万円程)、十六プラザ (183 万円程)
2. 会場候補

- ・ 長良川国際会議場のメリットとデメリット

(メリット) 席数 1600 名収容可能、前回開催実績あり、観光スポットとして利用等

(デメリット) 交通アクセスが悪く移動コストが発生、周辺の宿泊施設が少ない等

- ・ 十六プラザのメリットとデメリット

(メリット) 交通アクセスが良く移動コストがない、近隣に宿泊施設等が多い等

(デメリット) 席数 900 名と少ない、駐車場が少ない (高額) 等

<助成金>

- ・岐阜県イベントコンベンション誘致推進事業費補助金：2,000円×参加人数（900名参加と仮定すると180万円）、6月までに申請が必要
- ・岐阜市コンベンション開催事業補助金：20万円
- ・日臨技より（前渡金）：1,000万円（愛知県は872万円程受給）
- ・企業からの協賛金：目標200～300万円（前回74社、250万円程受給）

<支出>

- ・コンベンション企業への委託費（運営費）（高騰の可能性が危惧される）
前回は「コムラ」に依頼、十六プラザは運営会社「B-D00」

<収入>（上記助成金から概算）

- ① 日臨技（前渡金）：800万円
- ② 岐阜県：180万円
- ③ 岐阜市：20万円
- ④ 参加費：450万円
- ⑤ 企業協賛金：200万円

合計：1,650万円（前回の支出金額は1,500万円程度、280万円程の赤字であった。）

（森本部長）

演題数はどうか、十六プラザは席数（会場数）が少ないことが危惧される。

（山口副会長）

この席数（会場数）でも可能ではないか、全体として十六プラザの方のメリットが大きいのと思われる。

3. 日臨技各賞表彰者について [岡村会長]

- ・日臨技貢献賞：棚村一彦先生（前岐臨技会長）
- ・最優秀演題賞：川村勇人先生（岐阜大学医学部附属病院）
- ・優秀論文賞：石田真理子先生（岐阜大学医学部附属病院）

4. 臨地実習指導者講習会新規ファシリテーターについて [岡村会長]

- ・岐阜県総合医療センター 長屋麻紀先生（現任、継続）
- ・岐阜大学医学部附属病院 片桐恭雄先生（現任、継続）
- ・JA岐阜厚生連 土岐市立総合病院 渡邊常夫先生（新任）

5. 提案事項 [岡村会長]

会議進行方法や県学会、拡大研修会及び中部圏支部学会運営のあり方についての提案があり、小委員会を設置しマニュアル化の検討を行うことにした。

メンバー：岡村会長、山口副会長、酒井副会長、菊地参与

- ・会議の進行方法や資料作成など
- ・県学会は時勢に沿った形（倫理問題等）
- ・拡大研修会は担当地区・担当部門の役割等
- ・中部学会の開催方法について

以上の内容について、検討する必要があるか、マニュアル化できるかなどを話し合う。

6. 決議案件 [岡村会長]

【第一号議案】（森本学術部長より）（前回からの持ち越し議案）

拡大研修会・学会における講師料金等の規定（謝金規定）について

学術部から講師料金等の増額について、日臨技、他県技師会の料金設定を参考に増額した講師料金等の改正案が提示され、賛成多数で可決した。

（岡村会長）

以上の提案により年間 50～80 万円程、予算が増額される見込みであるが、その分、他の無駄なところを見直し、削減していきたい。

【第二号議案】

- ・地区理事の欠員について

◎定款・第四章（抜粋）（役員の種類及び定数）

第 23 条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20 名以上 25 名以内
- (2) 監事 2 名以内

2 理事のうち、1 名を会長とし、2 名を副会長、2 名を常務理事とする。

3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、前項の副会長、常務理事をもって同法第 91 条第 1 項第 2 号に規定する業務執行理事とする。

第 28 条・役員任期

3, 補欠として選任された理事及び幹事の任期は前任者の任期の満了する時までとする

4, 役員は、第 23 条第 1 項で定めた役員の数に欠けた場合には、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

岐阜地区：中尾楓理事（長良医療センター）

県外転勤により辞任希望、後継を同施設で擁立できず

会の規定で理事の人数が 20 人～25 人以内となっているが、現在 22 名であるため 1 名欠員でも規約上問題がないことを確認。しかし、2026 中部学会が岐阜地区担当であること、拡大研修会が来年岐阜地区担当であることが理由で 1 名欠員では困るとの意見があった。これを踏まえ岐阜地区で次候補を擁立することに決定した。

また、理事の交代には総会での補選が必要であるため「召集通知・議決権行使書」が発送される4月20日までに岐阜地区で次候補を擁立する。ただし、期日までに擁立できなかった場合には1年間欠員とする。

【第三号議案】

理事会開催時間を18時15分へ変更

常務理事会開催時間を18時へ変更

菊地参与の提案で、理事会、常務理事会開催時間のアンケート調査を実施、各々希望が多かった時間を提示、全員一致で可決した。

各事業部からの報告

【会計部】〔乾部長〕（配布資料から抜粋）

1. 令和6年度中間決算（令和6年4月1日から令和6年9月30日まで）について

（大きな増減のあったものについての説明）

*収支予算書（予算比較表）

・経常費用>事業費>消耗品費>試料・試薬代・・精度管理用試薬代で増額

*正味財産増減計算書

・一般正味財産増減の部>経常増減の部>経常収益>事業収入>研修会等参加費収入・・前年度上期、病理部門の技術研修会の開催なく減額

・一般正味財産増減の部>経常増減の部>経常費用>事業費>消耗什器備品費・・事務所移転に伴う備品導入が当年度はなく減額

・一般正味財産増減の部>経常増減の部>経常費用>事業費>支払負担金>賃借料・管理組合費・・前年度新事務所契約の初期費用が当年度はなく減額

・一般正味財産増減の部>経常増減の部>経常費用>事業費>支払負担金>その他手数料・・前年度旧事務所の売約手数料が当年度はなく減額

・一般正味財産増減の部>経常増減の部>経常費用>管理費>減価償却費・・冷凍庫、PC（2台）購入のため増額

・経常外増減の部>経常外費用>固定資産売却損>土地建物売却送損・・旧事務所の土地建物の売却が当年度はなく減額

*貸借対照表（令和6年9月30日現在）

・負債の部>流動負債>前受金>その他助成金・・検査と健康展の助成金について岐阜県が全国の中央会場であったため倍額

2. 令和7年度収支予算について

*令和6年度予算額との差額（大きな増減のあったものについての説明）

<経常収益>

- ・受取会費＞正会員会費・・・正会員 20 名増加予定で増額
- ・事業収益＞精度管理参加費・・・前年度実績より増額
- ・受取補助金等＞学会研修会助成金・・・學術部各研究部門の次年度計画により減額
- ・受取補助金等＞その他助成金・・・前年度検査と健康展が全国会場のため 100 万円だった。今年度は県単位の会場で 50 万円

<経常費用>

- ・旅費交通費＞日当・・・中部圏支部学会の視察と、學術部各研究部門の多くで増加が計画され増額
- ・旅費交通費＞旅費交通費・・・中部圏支部学会の視察と、検査と健康展の前年度実績により増額
- ・通信運搬費＞配送料・・・定期配送の郵送料の値上がりにより増額
- ・消耗品費＞試薬・試料代・・・前年度、精度管理試料の血液と HbA1c の市販品を購入し増額
- ・諸謝金＞講師等謝礼・・・岐阜県医学検査学会、臨床血液部門、臨床生理部門で増加が計画され増額
- ・支払負担金＞会場費・・・検査と健康展が全国会場から県単位の開催となり減額

*前年度と差額の大きい事業

- ・岐阜県学会・・・講師謝礼と会場費が増額
- ・臨床血液部門・・・講師謝礼と講師旅費交通費支出が計画され増額
- ・新人サポート研修会・・・前年度実績に合わせ、日当・交通費・食卓費・会場費を増額
- ・中部圏支部学会（三重県）・・・視察の日当・交通費・食卓費を増額
- ・精度管理・・・精度管理参加費を前年度実績に合わせ増額
前年度、精度管理試料の血液と HbA1c の市販品を購入し増額
- ・検査と健康展・・・会場が全国会場から県単位に戻り会場費が減額
- ・共通・・・配送料・消耗品費・印刷費など新年度実績に合わせ増額

*全体で 196 万円支出超過の予算となっている。

以上の内容について、全員一致で可決した。

(岡村会長)

乾部長の説明の中で、中部圏支部学会の準備金 88 万円含まれているが、今年度岐臨技から日臨技へ貸し出す形となり、支度金として、来年度日臨技から戻ってくることになる。実質 100 万円程超過となる。

【組織調査部】[澤野部長欠席]

なし

【精度管理事業部】 [渡邊部長]

- ・精度管理総括集、報告会訂正内容について、定期便で案内した。
- ・精度管理用試料の値上げにより赤字決算（30万円位）となった。今後、受益者負担（2,000円程）による値上げも検討しているが、値上げを実施すると参加施設減になることも危惧される。

(山口副会長)

二次サーベイのあり方についてはどうか。

(渡邊部長)

大きなコスト減には繋がらないように思われる。二次サーベイの特徴性から継続も必要と思われる。

【広報宣伝部】 [市川部長]

- ・ホームページのバナー広告に関する趣意書について：
メーカーからの要望により、「（一社）岐阜県臨床検査技師会では、（一社）日本臨床検査薬協会（臨薬協）が設けた「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」及び（一社）日本医療機器産業連合会（医機連）が設けた「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」の趣旨に賛同し、貴社がホームページに当会名と金額を公開することに同意します。」を付記することとする。

- ・バナー広告について：

井上精機、シーメンス、積水メディカル、ロシュ・ダイアグノスティックス、タウンズの5社となった。

- ・第80号岐臨技会報誌を発行した。

(岡村会長)

メーカーに対する趣意書（予算書）の提出の時期は、春に実施すると良いと思われる。

【学術部】 [森本部長]

1. 決算承認の件について

- ・生物化学部門研修会：

2月8日、LIVE配信（Zoomミーティング）にて開催

参加者；21名、予算15,640円、決算15,640円（岐臨技負担）

- ・血液部門研修会：

1月26日、LIVE配信（Zoomミーティング）にて開催

参加者；59名、予算39,000円、決算39,000円（うち参加費13,200円）

- ・輸血部門研修会：

2月15日、LIVE配信（Zoomミーティング）にて開催

参加者30名、予算12,800円、決算11,500円（岐臨技負担）

- ・微生物部門研修会：

2月22日、岐阜医療科学大学にて開催

参加者16名、予算7,700円、決算7,700円（岐臨技負担）

【渉外部】〔荻谷部長〕

- ・公益法人の申請書類を来年度に向けて準備中である。
- ・岐阜県医療勤務改善環境支援センター運営協議会に出席予定である。

【庶務部】〔日比部長〕

- ・今後の理事会、常務理事会開催について、3月と4月は常務理事会、5月は理事会開催となった。
- ・定時総会の「召集通知・議決権行使書」は、4月の常務理事会を経て定期便を発送（従来と異なる発送）、5月の理事会（早める）で承認後ホームページに掲載するという方針となった。

各地区からの報告

【岐阜地区】

特に報告事項なし

【中濃地区】

- ・2月18日に地区総会を開催し、活動報告を行った。

【西濃地区】

- ・2月21日に地区総会を開催し、活動報告を行った。
- ・第63回岐阜県医学検査学会の担当地区として日程・会場の準備を行っている。

【東濃地区】

特に報告事項なし

【飛騨地区】

- ・地区総会において事業計画を進めている。
- ・第62回岐阜県医学検査学会の抄録集を配布予定である。また、当日の弁当代を1,200円（現行1,000円）に変更することを了承していただく。

その他

特になし

以上

議長 岡村明彦 印

議事録署名人 帖佐光洋 印

議事録署名人 服部充延 印